

## 小金井市立保育園の役割（案）

### 【市立保育園の役割の位置付け】

小金井市は、どの子ども、そしてどの親も一人にせず、安心して子育てが出来る環境の構築を目指している。近年増加する、多様なニーズを持つ子ども、家庭を含めた、インクルーシブな社会を実現するためには、保健、医療、福祉、教育、子育て等の関連分野が有機的に連携することが重要となる。その中核にはこども家庭センターが位置することになるが、保育所等はこども家庭センターと連携しながら、保育・子育て支援を通して、その一端を担う大きな役割をもつ。各公立保育所は行政機関としてその役割を主体的に担い、各地域の民間保育施設への協力・支援、連携の場づくりを行うことが求められる。

### 【役割の整理】

	役割	目標	具体的な内容
1	地域の連携、保育の質の維持・向上を <b>押し進める</b> 役割 <b>（行政機関としての役割）学ぶ・つなげる</b>	・地域の認可・認可外の保育施設の保育の質の維持・向上のために機能する。	・保育所保育指針・小金井市保育の質のガイドラインに準拠した保育を自ら行い、小金井市の保育の実践モデルとして存在する。 ・地域の民間保育施設と連携・交流し、学び合いの場をつくったり、蓄えられた専門性・経験値を活かした支援・指導を行う。 ・園庭・プールなどを民間保育施設に利用してもらう。 ・巡回支援指導を実施する人材の育成につなげる。
2	難度の高い保育を率先して担う役割 <b>（行政機関としての役割）取り組む</b>	・配慮を要する子ども（障害児、医療的ケア児）、要支援家庭・児童（外国籍、生活課題をかかえる、養育困難、虐待懸念）支援を率先して行い、民間保育施設とも <b>文章連結</b>	・配慮や支援を要する子ども・家庭に寄り添い、行政機関として難度の高い保育に自ら率先して取り組む。 ・こども家庭センター、療育機関、医療機関などと連携する。 ・これらの経験値や専門性を蓄積し、民間保育施設と事例を共有したり必要な支援を提供するなどして、小金井市の支援体制を強化する。
3	公立保育園の機能を活かして在宅子育て家庭を支援する役割 <b>（地域子育て支援拠点としての役割）手を伸ばす</b>	・保育の専門性をもつ子育て支援センター*として、在宅子育て家庭の支援を行う。 <b>子育て支援センターの説明は注釈に</b> <b>文章補足</b> *子育て支援センター（地域子育て支援拠点事業・一般型）の基本事業：親子交流、子育て相談、子育て支援関連情報の提供、子育てに関する講習の実施など。	・地域の在宅子育て家庭への支援を、保育の専門性・経験値を活かして行う。 ・子育て相談（対面、電話、メールなど）、出前保育、母子保健事業に参加するアウトリーチの活動、一時保育（こども誰でも通園制度）などの実施を通して支援ニーズの発見に努める。 ・必要に応じて保育の実施による支援を行ったり、こども家庭センター等他機関と連携して支援をつなぐなど、幅広く臨機応変な支援を行う。 ・高齢者との交流、小学生の居場所などのニーズにも応えることも視野に。
4	緊急時に地域の子どもと保育を守る役割 <b>（保育施設としての役割）そなえる</b>	・保育施設でのトラブル、災害などの緊急時に、市の責任による子どものセーフティネットとして機能する。 <b>左右の内容を整理</b>	・地域の保育施設にトラブル等による保育の停止などがあった場合には、子どもの受け皿となる ・災害時に、生活施設として地域を支援する（避難所での出前保育、復旧が遅れている保育施設利用者のための臨時保育、民間施設への支援物資提供の拠点となるなど） ・市の機関として横断的に連携しながら、非常時対応をする。

※ 上記役割を市立保育園が果たすために行政が果たすべき役割：関係機関との連携等においてイニシアチブをとる

【注】子育て支援センター：児童福祉法に基づいて自治体が設置する、子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場。一般型と、児童館等に設置する連携型がある。